

# 2021年3月期 第2四半期決算説明会

---



関東電化工業株式会社

(東証1部 4047)

2020年11月24日

# 説明内容

---

1. 2021年3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

# 事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学品 事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学品 事業	フッ素系製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲストン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、五フッ化ヨウ素、六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

# 関東電化グループ（連結子会社）

(単位：百万円)

	資本金	出資 比率%	2020年上期 売上高	対前期比	主要な事業内容
関電興産（株）	10	100.0	3,163	△415	化学工業薬品の販売および容器整備、 保険代理店
（株）上備製作所	120	49.4	2,206	△1,070	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業（株）	27	99.3	320	△50	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA（株）	3億ウォン	90.0	6,875	1,324	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份有限 公司	7百万NTドル	100.0	2,142	△290	フッ素系製品の販売
関東電化ファインプロダク ツ韓国（株）	215億ウォン	100.0	416	416	フッ素系製品の製造・販売
宣城科地克科技有限公 司	421万ドル	95.0	—	—	フッ素系製品の製造・販売
		<b>合計</b>	<b>15,125</b>	<b>△86</b>	

# 連結決算のポイント (P/L)

(単位：億円)

	2019/9	2020/9	差額
売上高	270	243	△26
営業利益	40	18	△21
純利益※	25	8	△17

※親会社株主に帰属する四半期純利益

## 【売上高】 (△26億円)

- ・基礎化学品事業は、販売数量の減少と販売価格の低下により減収 (△6.8億円)
- ・精密化学品事業は、販売数量は増加したものの、販売価格の低下により減収 (△8.5億円)
- ・鉄系事業 (△4.3億円)、商事事業 (△0.0億円)、設備事業 (△6.5億円)

## 【営業利益】 (△21億円)

- 基礎化学品事業 (△1.3億円)、精密化学品事業 (△15.8億円)
- 鉄系事業 (△1.4億円)、商事事業 (+0.1億円)、設備事業 (△2.3億円)

# 基礎化学品事業部門

(単位：億円)

	2019/9	2020/9	差額
売上高	33	26	△6
営業利益	0.1	△1.1	△1.3

## 【売上高】

- ・か性ソーダ・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収
- ・塩酸・・・販売価格の低下により減収
- ・トリクロールエチレン・・・販売数量の減少により減収
- ・パークロールエチレン・・・販売数量は増加したものの販売先の構成差により減収

## 【営業利益】

- ・売上高の減少により減益

# 精密化学品事業部門

(単位：億円)

	2019/9	2020/9	差額
売上高	199	191	△8
営業利益	33	17	△15

## 【売上高】

- ・三フッ化窒素・・・販売価格は低下したものの、販売数量の増加により増収
- ・六フッ化タングステン・・・販売数量は増加したものの、販売価格の低下により減収
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン・・・販売数量の増加により増収
- ・六フッ化リン酸リチウム・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収

## 【営業利益】

- ・売上高の減少に加え、棚卸資産評価損の計上等により減益

## 鉄系・商事・設備事業部門

(単位：億円)

	2019/9	2020/9	差額
売上高	37	26	△10
営業利益	6	1	△4

### 【鉄系事業】

キャリアーおよび鉄酸化物の販売減少により減収

### 【商事事業】

連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売減少により減収

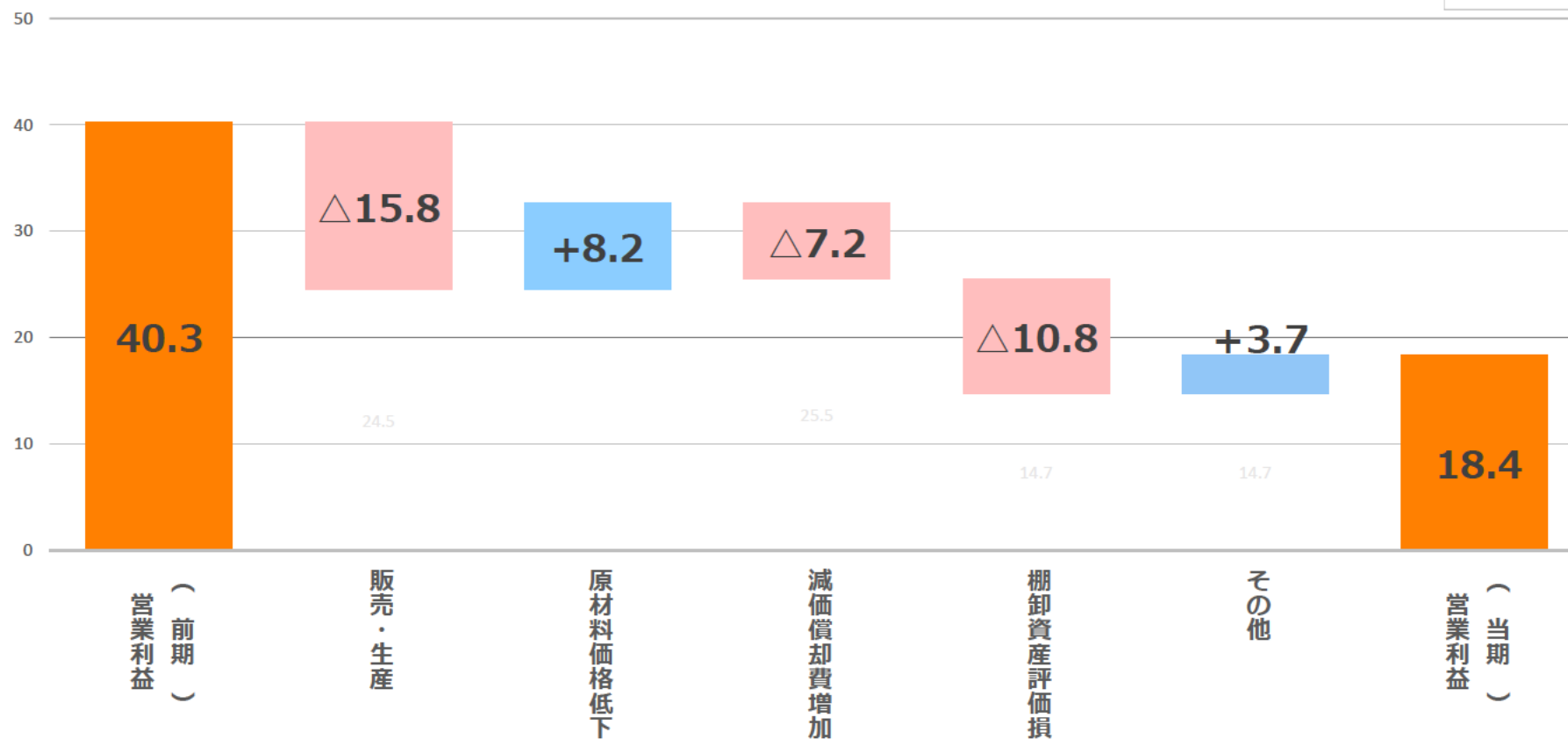
### 【設備事業】

連結子会社である上備製作所の請負工事減少により減収

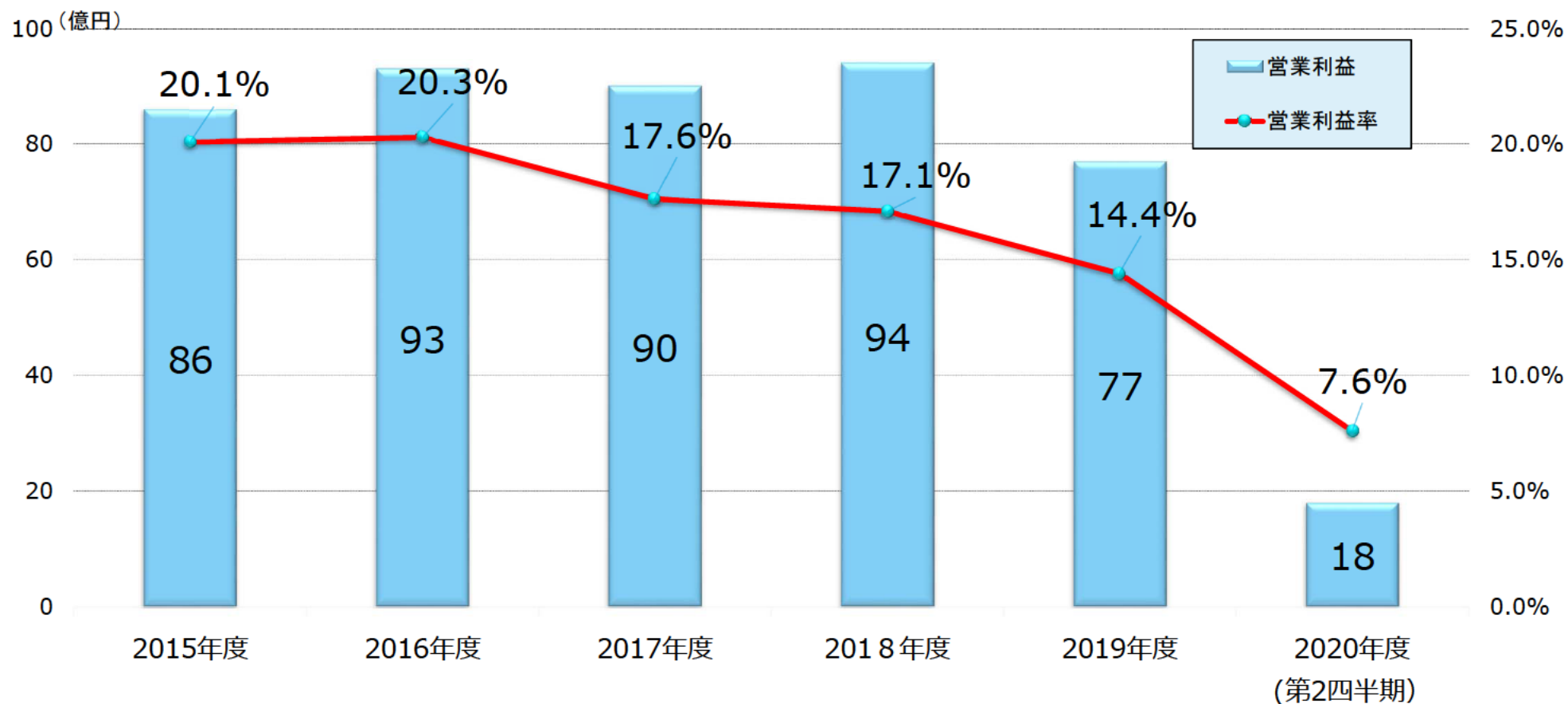


# 連結営業利益差異分析(2019/9 対 2020/9)

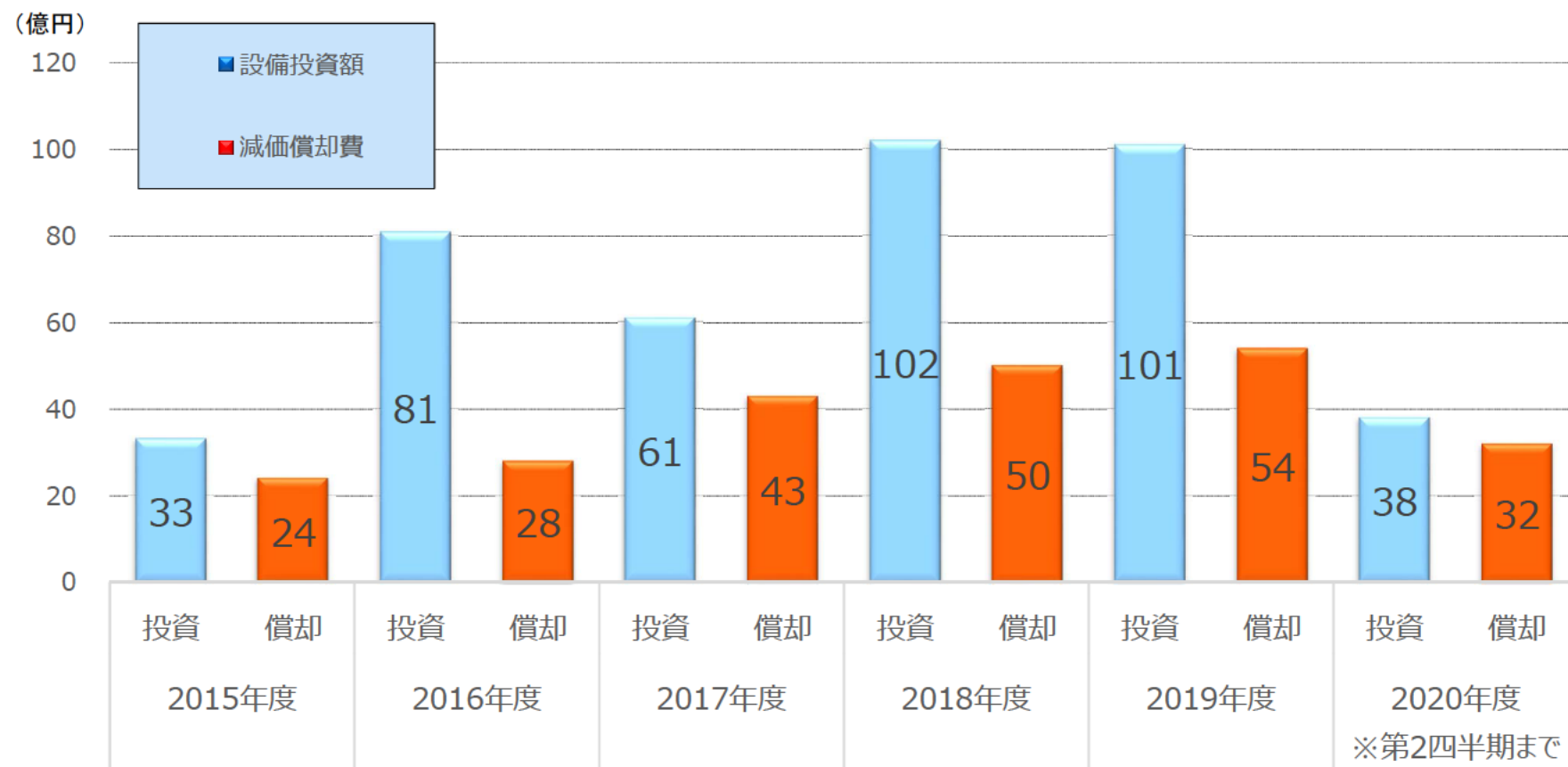
(単位：億円)



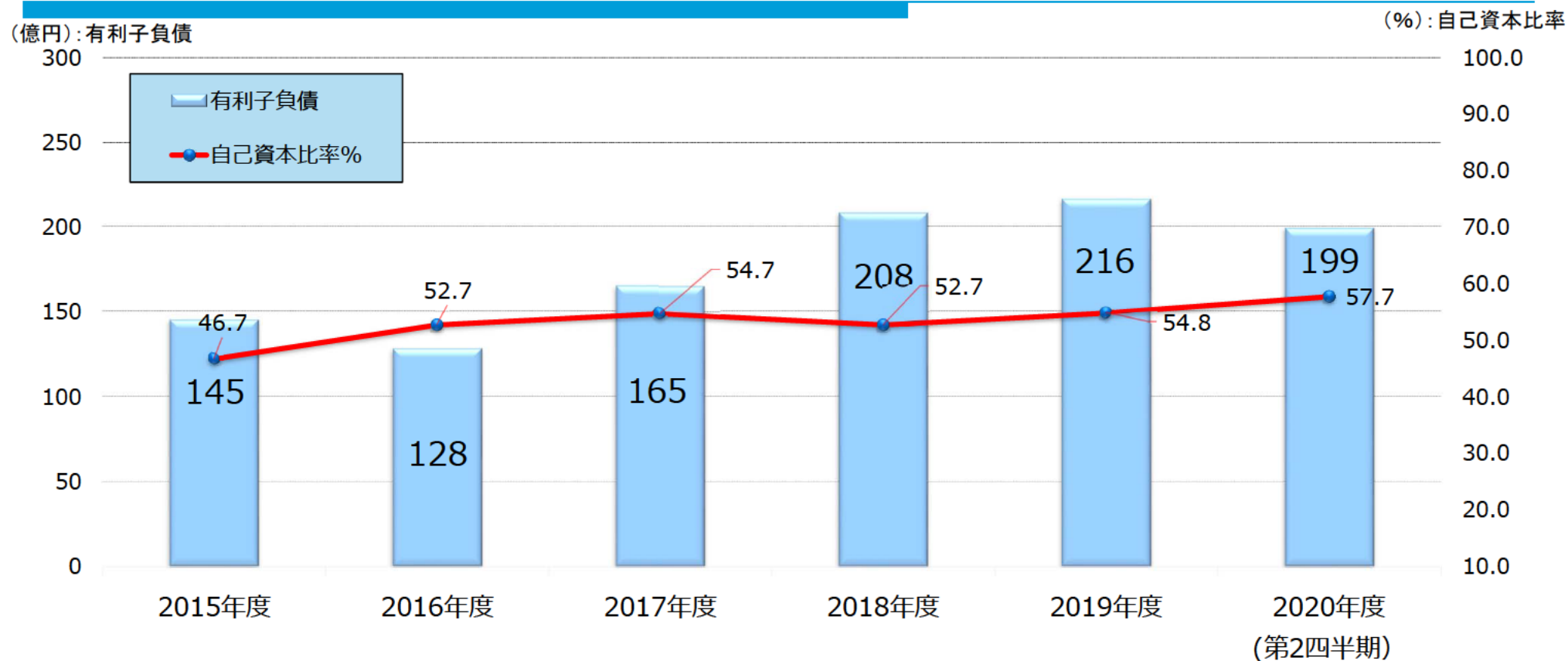
## 営業利益と営業利益率の推移（連結）



# 設備投資・減価償却費の推移（連結）



# 有利子負債・自己資本比率の推移（連結）



# 説明内容

---

1. 2021年3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

# 新型コロナウイルスの影響

---

## 業績への影響

- **基礎化学品事業**・・・国内産業の経済活動低下により需要が低迷。下期は緩やかな回復傾向。
- **精密化学品事業**・・・半導体・影響向け特殊ガス類は堅調に推移するものの電池材料の需要が低迷。下期は回復傾向。
- **その他事業**・・・・・・・・テレワークの進展により、鉄系製品の需要が低迷。
- **生産、原材料調達**・・・影響なし。

## 感染拡大防止への取り組み

- 緊急対策本部を立ち上げ、国内外全ての事業所、製造拠点において各種予防対策を継続。

# セグメント別業績予想（連結）

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2020/3 実績	2021/3 見込	差額	2020/3 実績	2021/3 見込	差額
<b>基礎</b>	66	55	△11	1	△2	△3
<b>精密</b>	399	389	△10	68	35	△33
<b>その他※</b>	70	56	△14	7	2	△5
<b>合計</b>	536	500	△36	77	35	△42
<b>設備投資費</b>	101	67	△34			
<b>減価償却費</b>	54	69	15			
<b>研究開発費</b>	13	15	1			

【業績予想前提】  
為替レート：107円/\$

※その他には、鉄系事業、商事事業、  
設備事業および連結調整を含みます。

# セグメント別業績予想（連結） 上期下期比較

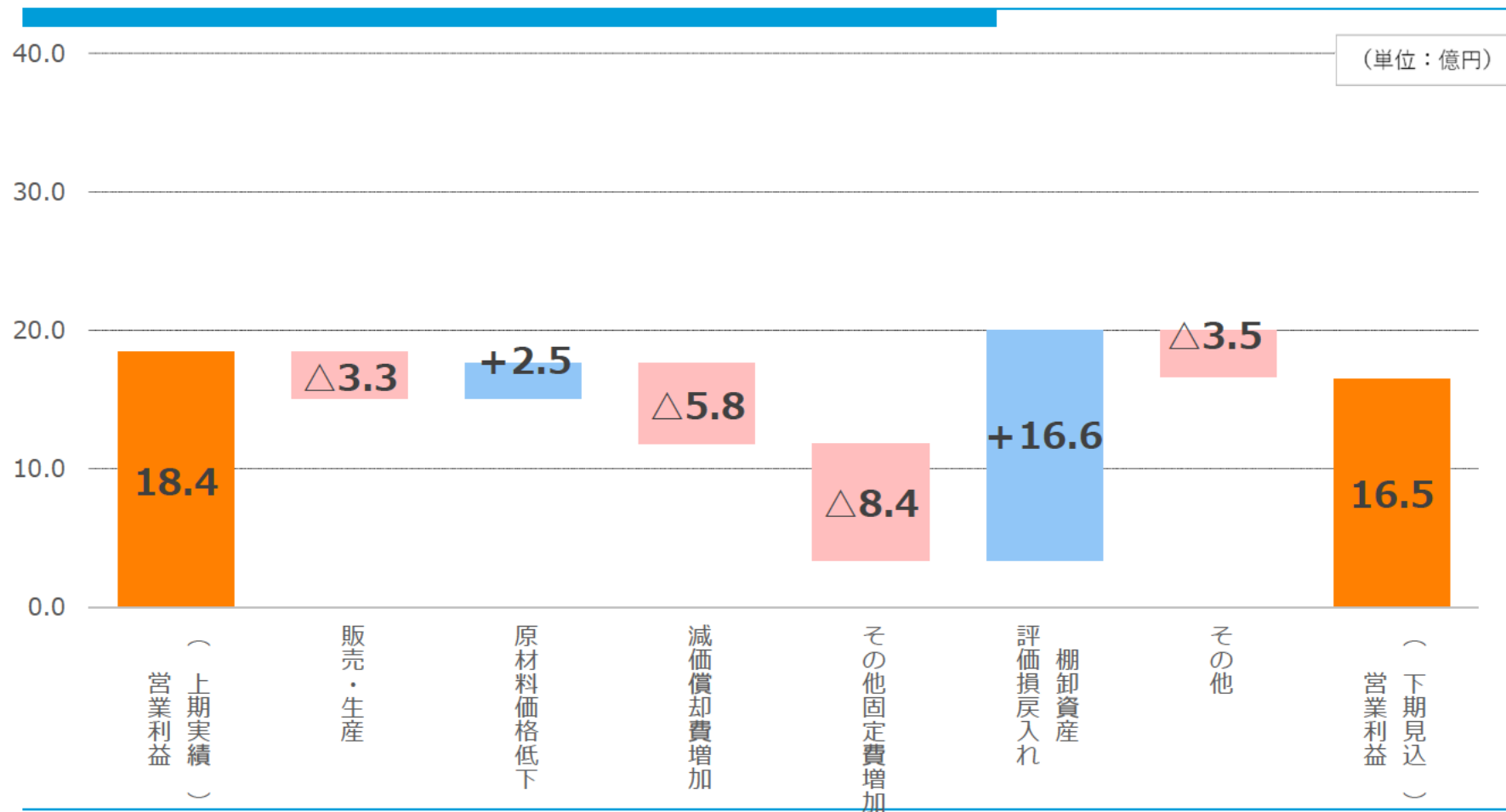
（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	上期実績	下期見込	差額	上期実績	下期見込	差額
<b>基礎</b>	26	28	2	△1	△0	0
<b>精密</b>	191	197	6	17	17	△0
<b>その他※</b>	26	29	3	1	0	△1
<b>合計</b>	243	256	12	18	16	△1
<b>設備投資費</b>	38	29	△9			
<b>減価償却費</b>	32	37	5			
<b>研究開発費</b>	7	7	0			

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

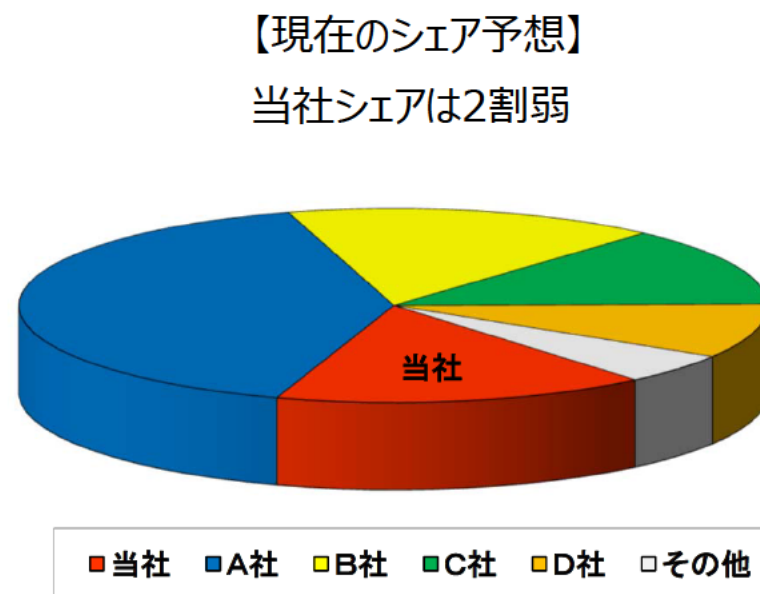
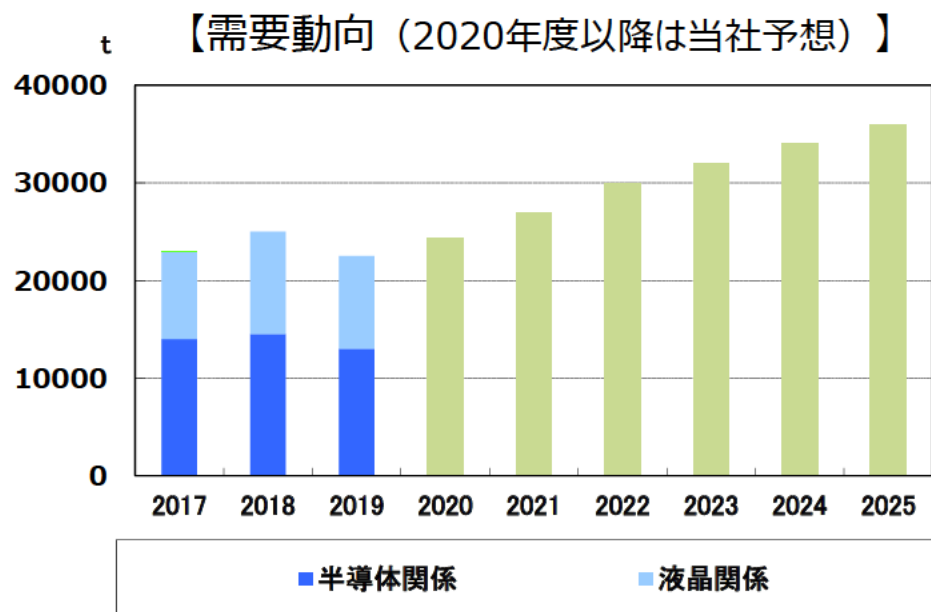


# 連結営業利益差異分析(上期実績 対 下期見込)



## ー主な製品の見通しー 三フッ化窒素 (NF<sub>3</sub>)

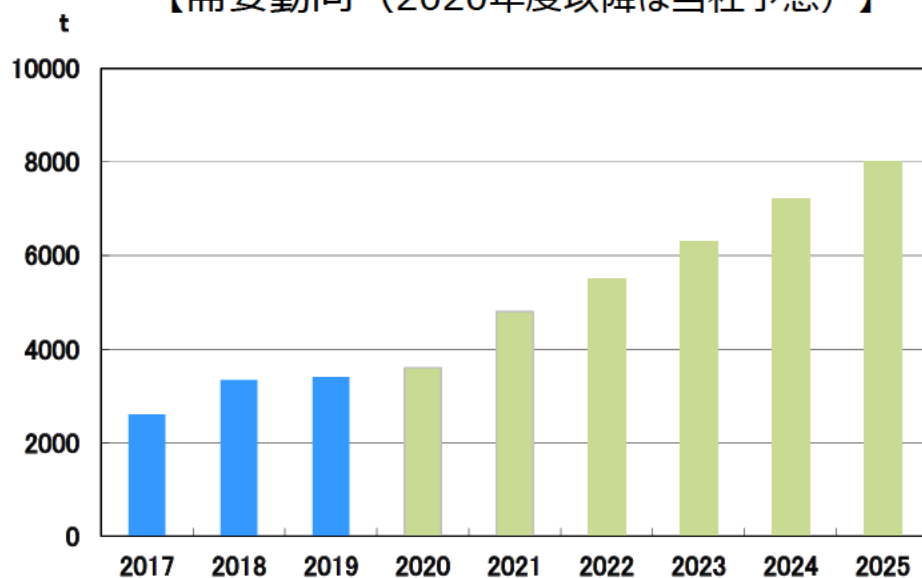
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス
- 製造能力 3,700t/年



## – 主な製品の見通し – 六フッ化タンゲステン(WF<sub>6</sub>)

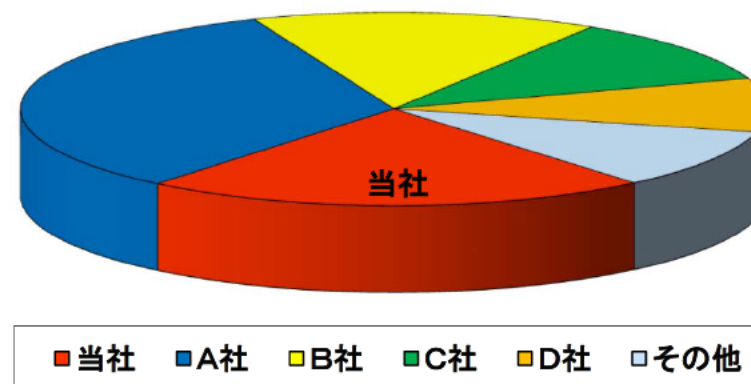
- 半導体用配線材料ガス。
- 製造能力720t/年（2016.11） ➡ 910t/年（2018.8） ➡ 1,400t/年（2019.10）

【需要動向（2020年度以降は当社予想）】



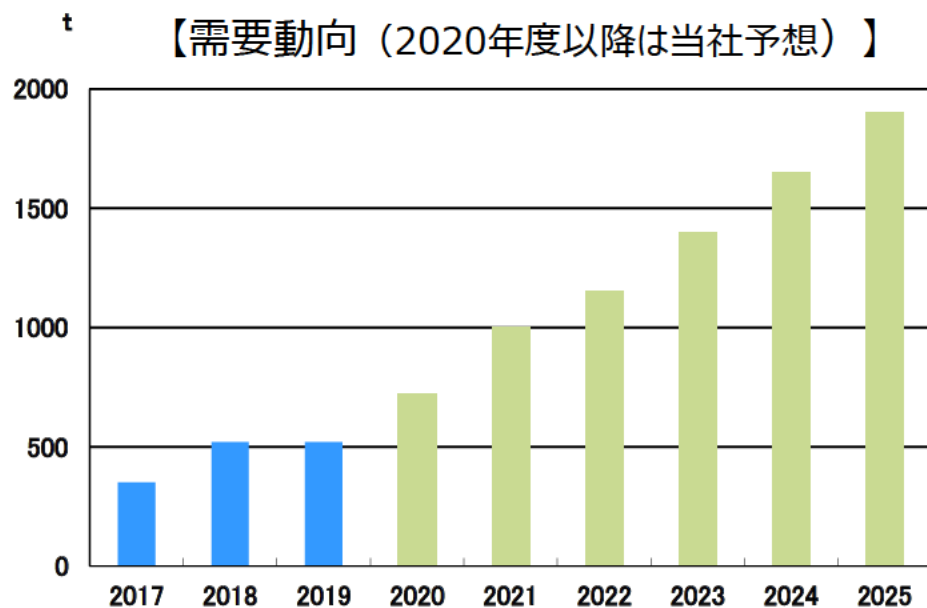
【現在のシェア予想】

当社シェアは約 3 割

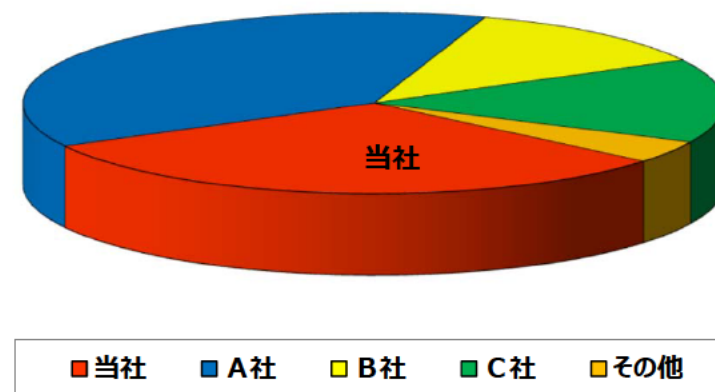


## - 主な製品の見通し - ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C<sub>4</sub>F<sub>6</sub>)

- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 125t/年 ➡ 160t/年 (2018.12) ➡ 260t/年 (2019.12) ➡ 400t/年(2022.7予定)

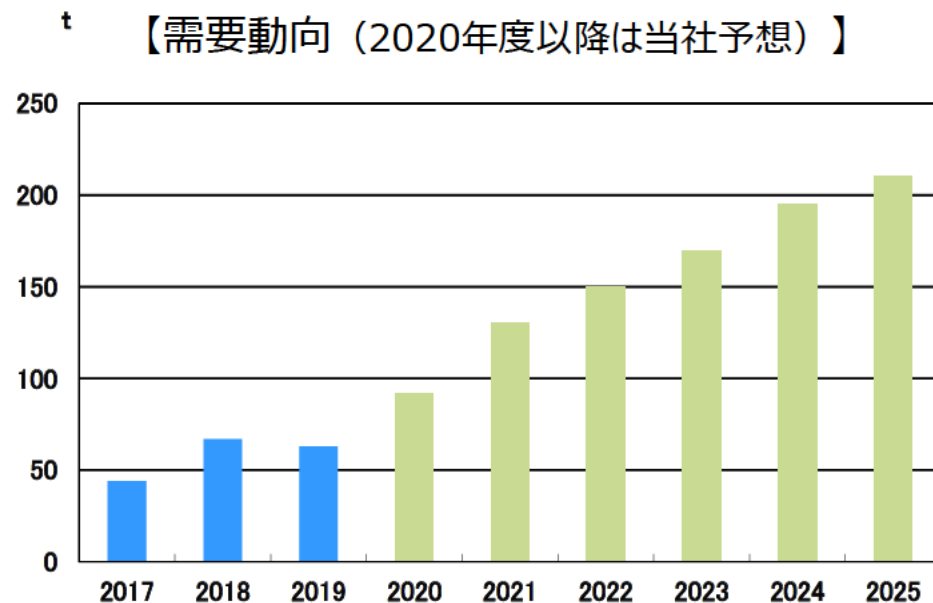


【現在のシェア予想】  
当社シェアは約 3 割

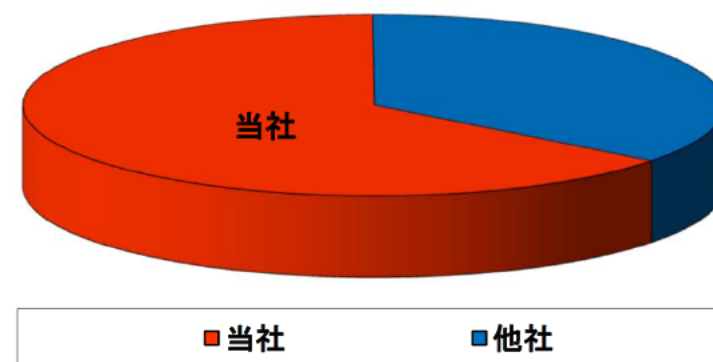


## – 主な製品の見通し – 硫化カルボニル(COS)

- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 40t/年 ➡ 80t/年 (2019.10)



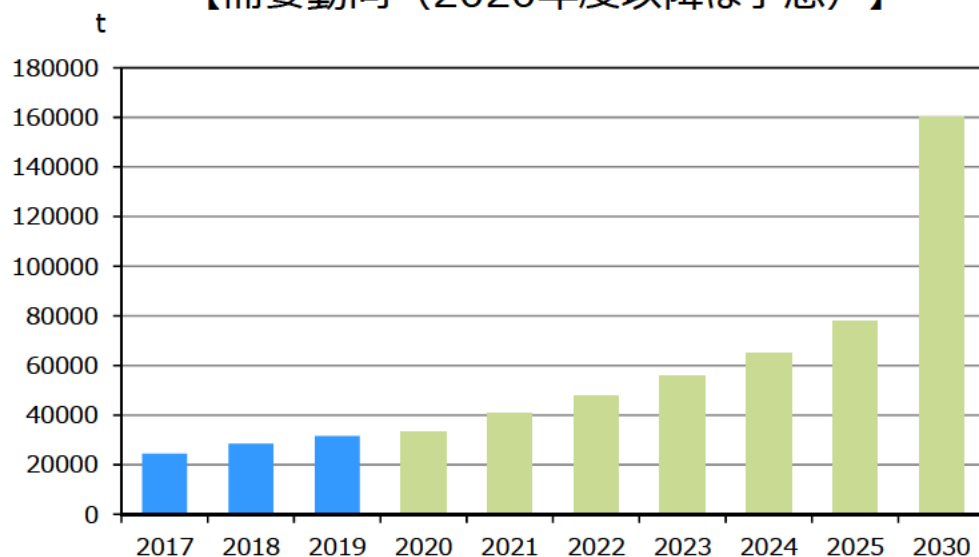
【現在のシェア予想】  
当社シェアは6割以上



## – 主な製品の見通し – 六フッ化リン酸リチウム (LiPF<sub>6</sub>)

- リチウムイオン二次電池の材料である電解質
- E V等の車載向け需要が本格化
- 現在の製造能力は5,400 t /年

【需要動向（2020年度以降は予想）】

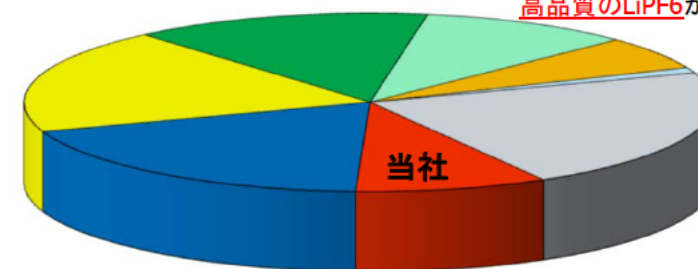


【現在のシェア予想】

当社シェアは約 1 割

車載用電池

電池特性、安全性等の要求が強い  
高品質のLiPF<sub>6</sub>が必須となる



■ 当社 ■ A社 ■ B社 ■ C社 ■ D社 ■ E社 ■ F社 □ その他

## – 海外生産拠点について – 関東電化ファインプロダクツ韓国(株)

### □ 所在地

大韓民国忠清南道天安市

### □ 事業内容

半導体・液晶用特殊ガス類の製造・販売

### □ 生産品目

- ・硫化カルボニル(COS)
- ・四フッ化炭素(CF<sub>4</sub>)
- ・三フッ化塩素(CIF<sub>3</sub>) \*

\* : 建設中(2021年稼働予定)



## – 海外生産拠点について – 宣城科地克科技有限公司

### □ 所在地

中華人民共和国安徽省宣城市

### □ 事業内容

半導体・液晶用特殊ガス類の製造・販売

### □ 生産品目

I 期工事\* : フッ化アンモニウム

II 期工事 (計画中)

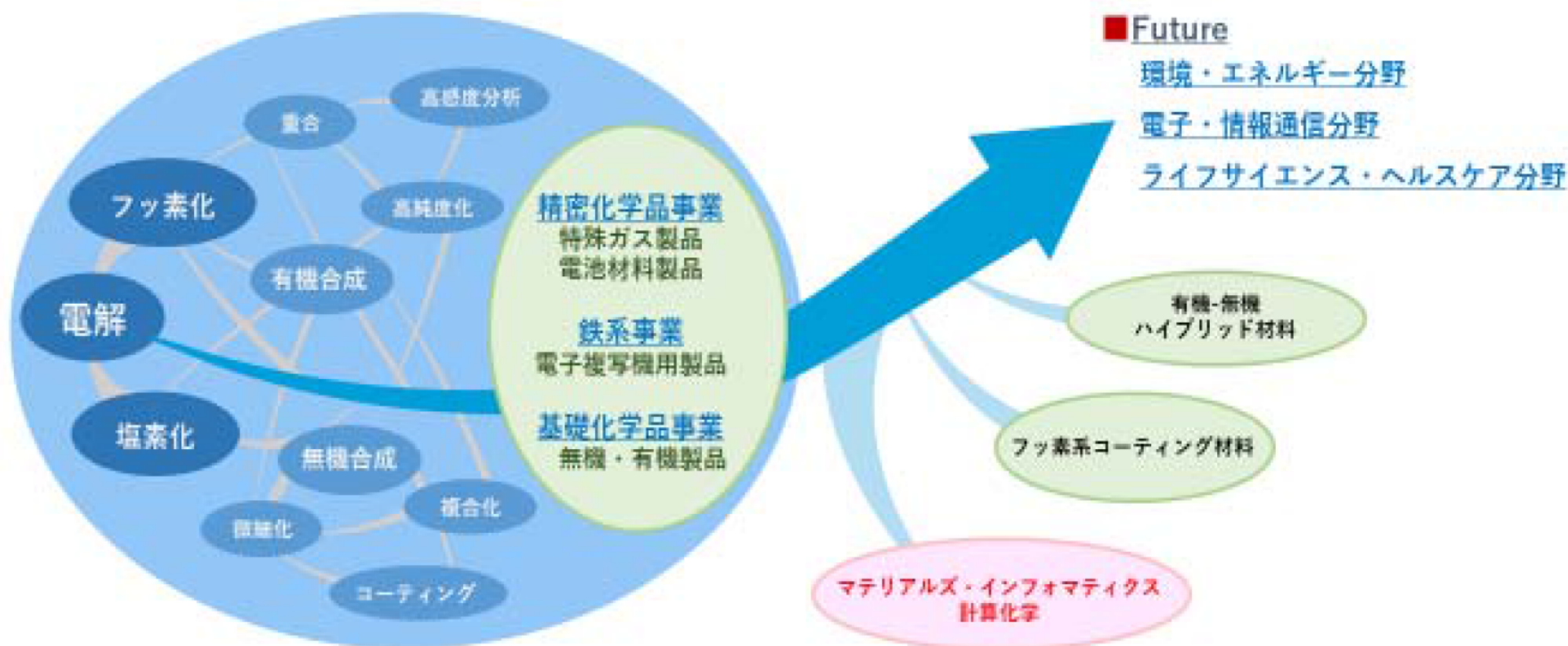
- ・六フッ化タンゲステン(WF<sub>6</sub>)
- ・四フッ化炭素(CF<sub>4</sub>)
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C<sub>4</sub>F<sub>6</sub>)

\* : 2022年稼働開始予定





# 当社技術と事業方向性



# 注意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。